



福井 節子 議員

高島市民病院にかかると、産科・小児科でも紹介状が必要か？

答 開業医がない産婦人科・精神科、少ない小児科は紹介状がなくても予約できる

問 出産を希望する人が、安心して出産できる施策を。高島市は特殊出生率を2040年に2・07と目標を定めたが、結婚・出産・子育ては個人の生き方や権利であり、行政が踏み込むべきではない。希望する人が、安心して産み育てられる環境を整えることが政治の責任だ。その観点で問う。

答 高島市民病院の産婦人科・小児科を堅持すべき。そのためには財政的支援も必要だ。

問 健康福祉部長 高島市の未来を担う子どもを、安心して出産し子育てするために絶対に必要な診療科であり、一昨年は約6億4千万円、今年度も6億を超える当初予算を計上しており、来年度は調整中です。

問 産科・小児科でも紹介状が必要か。初診料も払うのか。

答 病院事務部長 市内に開業医がない産婦人科・精神科、数が少ない小児科は、紹介状がなくても予約できます。また、救急も含め、直接来ていただき受診できますが、初診時選定療養費はお支払いいただきます。

問 妊婦健診券が高島市は1枚2千500円で最低だ(以下資料参照)。

答 健康福祉部長 9市町のように、基本受診料の5千40円を当市も発行し、安心して受診できるように拡充すべきだ。引き上げを。改定の方向で考えており、金額は来年度予算に向け協議中です。

基本健診標準金額	68,480円
高島市	35,000円
大津市	46,580円
9市町	68,480円

妊婦健康診査受診券の合計金額(基本受診券14枚分)

問 普通分娩で救急車の利用は可能か。

答 消防長 事前の入院のためなどは不適切ですが、異常分娩や出血などによる搬送依頼は対応させていただきます。

問 タクシーがない夜間に陣痛がおき、家族が車を出せない時、救急患者扱いとなるか。

答 消防長 救急車を呼んでいただいで結構です。

市民に周知を。医療の安心・医師の安心・費用の安心があつてこそ、出生数向上につながる。政治の役割をしっかりと果たすことが求められる。

用語解説

初診時選定療養費：200床以上の病院が、他の医療機関からの紹介状を持たない初診患者に対して、通常の医療費とは別に徴収できる費用。

その他の質問

●安心の保育環境の提供を
●安定した安全・安心の学童保育環境の提供を



吹田 薫 議員

高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略

持続可能なまちを目指すための今後の取り組みは？

答 旧県農業試験場湖西分場跡地を活用し、若者定住住宅を整備する

問 人口減少がもたらす課題として高齢化の進展により医療、介護事業が増大し生産年齢人口の減少による地域経済規模の縮小、地域産業の担い手が減少、農地山林の荒廃、また地域コミュニティや集落機能の維持が困難になり、店舗の撤退などで生活サービスが低下し税収減により公共サービスの低下やコストの増大が見込まれるとあるが、少子高齢化が進むとこのような問題がたかさん出てくる。

答 政策部長 若者定住促進住宅地整備事業は、高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の「高島への新しいひとの流れをつくる」分野に位置づけ、旧県農業試験場湖西分場跡地を活用し、若者定住住宅の整備を計画しています。今後は、この取り組みを

高島市に住む市民として大変心配するところである。持続可能なまち・高島を目指すために、若者定住促進住宅地整備事業の今後の取り組みについて質問する。

効率的かつ効果的に進めるため、民間資金や経営能力、技術的能力を活用した「民設民営」事業を基本とし、購入価格や宅地分譲計画などの提案を受け、それらを総合的に審査するプロポーザル方式により民間事業者へ市有地の売却を行いたいと考えています。また、提案にあたっては、JR安曇川駅にも近く、幼保連携型認定こども園が隣接していることから、通勤の利便性や子育て環境を前面に出し、住宅地の整備等において、周辺環境と調和した整備や子ども達が集う

公園等を設け、地域コミュニティが積極的に育まれる環境を整備していきたいと考えています。

なお、当事業を推進することにより、若者の移住、定住を促進し人口の流出に歯止めをかけ、地域の活性化を図りたいと考えています。



※合併前は郡内移動もカウントしているため、転入・転出総数は実数と合致しないことがある。